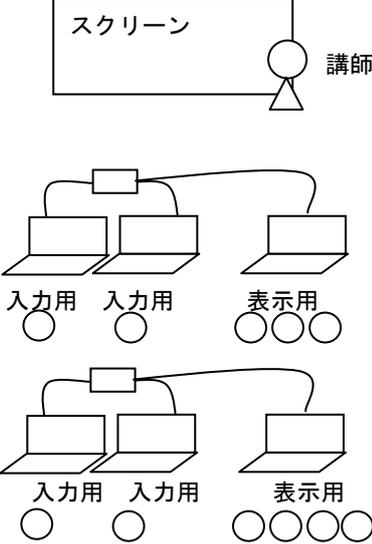


ニーズを伝えよう！「パソコンノートテイク」

指導計画

	内容	留意事項
<p>会場配置</p>		<p>受講者は表示用パソコンの前に座る</p>
<p>情報保障</p>	<p>なし（直接コミュニケーションを取りながら進行） ※ただし参加学生からパソコンノートテイクの要望があった場合は支援学生に入力を依頼する</p>	
<p>進行・展開</p>	<p>○概要説明と資料配付（3分） ○特徴の異なるパソコンノートテイク映像を見て比較する。（2分30秒×2本＝約5分） ①パソコンノートテイク映像（ほぼ原文ママ） ②パソコンノートテイク映像（ある程度整文） （正面スクリーンに投影） ○原文とも見比べ、①と②それぞれの特徴や感想を述べ合う。（5分） ○上記で使用されていた講義映像のみを流し、支援学生が実際に入力する様子を見る。（2分30秒）※1 ○同じ表示画面を見た学生同士で、パソコンノートテイクに対するニーズを話し合い、次回入力に向けて支援学生に何をどのように伝えるか話し合う。（10分） ※2, ※3 ○グループごとに支援学生にニーズを伝える。（3分） ○グループごとに支援学生に、ニーズを伝えられてどのように感じたかインタビューする。（2分）</p>	<p>PPT 使用 資料：講義原文</p> <p>※1 この部分は模擬授業という位置づけにし、講義映像は正面スクリーンに流すが「今ここ」で講義が行われているものとして支援学生には入力してもらう。携帯の着信音を鳴らすなどの「アクシデント」を1つ入れたい</p> <p>※2 「お互いの意見を否定しない」ことをルールに話し合い、それぞれのニーズが異なることに気づく。</p> <p>※3 個人で異なるニーズのうち、どれを今回支援学生に伝えるか、またどのような伝え方をするかを中心に話し合う。</p>

この資料は、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)地域ネットワーク形成支援事業の活動成果です。

	<p>○再度模擬講義を行い、ニーズに基づいて再度入力してもらおう。(2分30秒)</p> <p>○全体で、参加学生、支援学生から一言ずつコメントを述べ合う。(5分)</p> <p>○まとめ(2分)</p> <p>自分のニーズは遠慮なく周りの人に伝えて構わないこと、自分にとっての情報保障のニーズを把握し、自分にとって最も良い情報保障の環境を自ら作ることがなぜ重要かを伝える。</p>	
--	---	--